

## 第5章 痴漢等に対する悪質感

痴漢、ストーカー等に対する悪質感を、その他の犯罪に対する悪質感との対比で測定することを試みた。方法は、痴漢等問題にする犯罪を具体的に示し、「次の行いはどの程度悪いと思いますか」と設問した。調査票に見るよう回答は、0点から100点までのスケールを示して、それぞれの犯罪に対して感じている悪さの点数の場所に○をつけさせた。点数評価の基準として、「学校で他人の傘の無断借用」の悪さを10点、「人を殺して金を奪う、強盗殺人」の悪さを90点として、それとの比較で各犯罪への悪質感を表現させた。

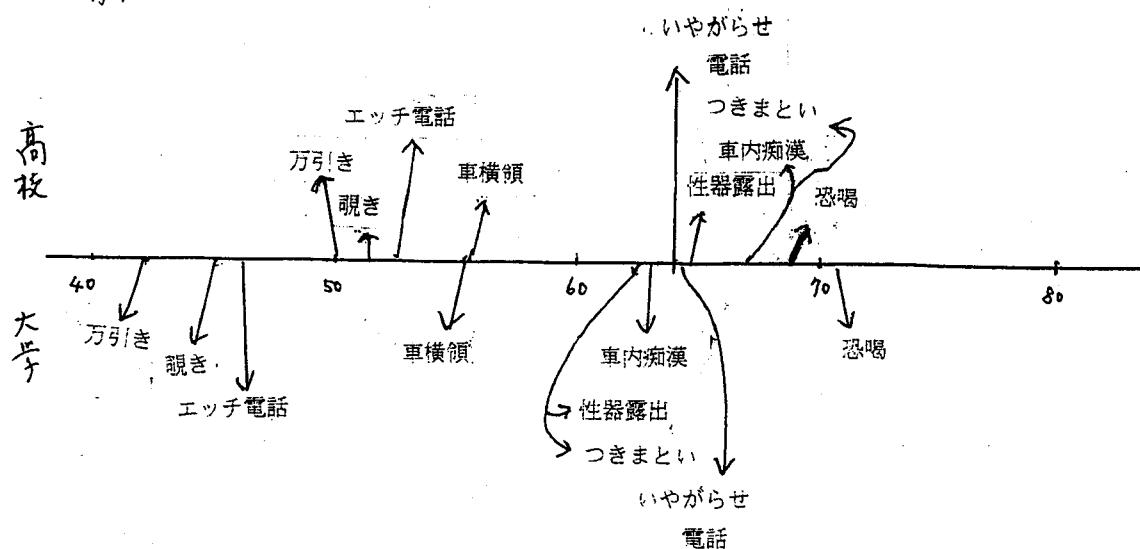
### 1. 痴漢等各犯罪行為に対して感じている悪質感点数

対象者の別に、各犯罪への悪質感の平均値を求めると、表5-1になる。またこの結果を図にすると、図5-1になる。

表5-1 痴漢等の犯罪行為に対する悪質感

	高校；男子 女子		大学；男子 女子	
1. 千円くらいの万引き	50	59	44	59
2. 女性の更衣室覗き	52	61	47	62
3. 女性にエッチな電話をする	54	67	48	64
4. 乗り物内での痴漢	69	81	64	75
5. つきまとい（ストーカー）	69	79	63	74
6. 男性の性器露出	66	82	63	76
7. いやがらせ電話の繰り返し	65	79	64	77
8. 道路上で恐喝行為	69	82	71	82
9. 道路の車の無断使用（横領）	56	65	56	63

(男)



(女子)

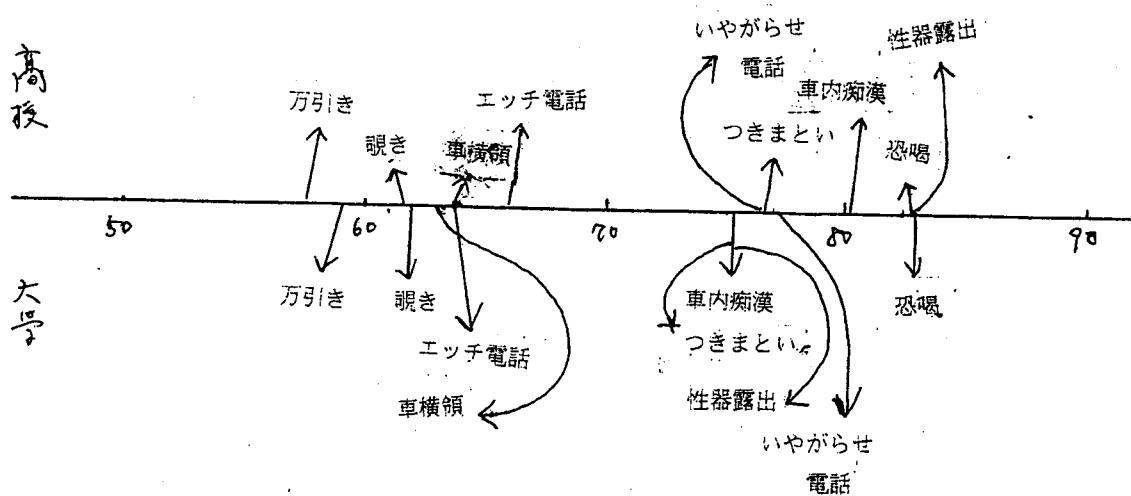


図 5-1 ; 各犯罪に対する悪質感のスケール上の位置 ; 対象者の群別

以上の結果は次のようにまとめられる。

1) 各犯罪に対する悪質感の程度をみる。取り上げた犯罪には、痴漢・ストーカー等性に関わる犯罪と、その他の犯罪がある。性に関わらない犯罪としては、少額の万引き、車の窃盗ないし横領、路上での恐喝の3種を取り上げた。この3種の犯罪に対する悪質感は、4つの回答者群全部に共通して、万引きが最も悪質感が低く、恐喝が高く、車窃盗がその中間である。

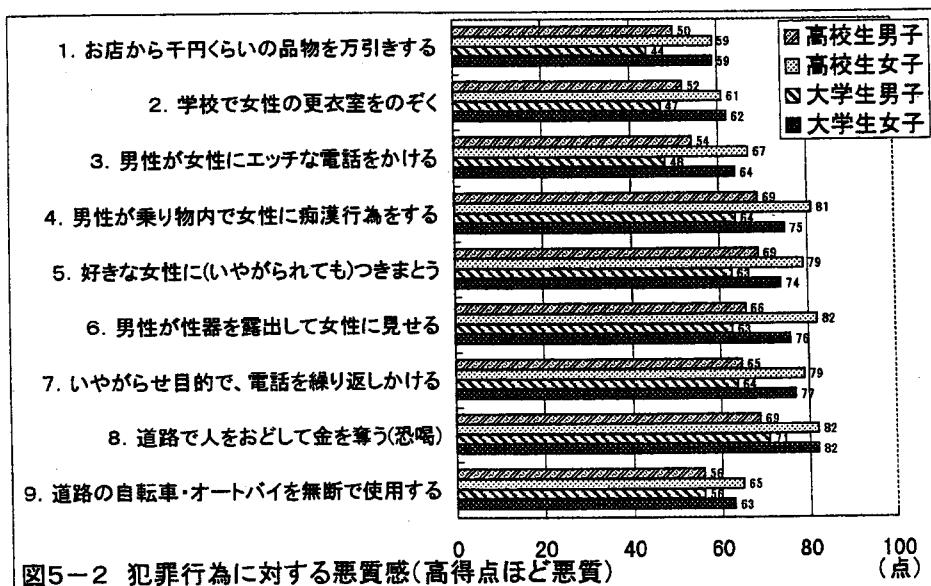
これを別に言うと、特別に悪質な殺人や、特別に悪質感の軽微な校内で他人の傘を無断使用するような犯罪を除き、大部分の一般的犯罪は、千円程度の万引きよりも悪く、路上の恐喝よりは悪くないと感じていよう。その中間に、路上の車窃盗・横領がある。

2) 男子の回答の特徴；高校生・大学生に共通して、女性の更衣室覗きと、女性にエッチな電話をするのは、少額の万引きよりも悪いが、路上の車窃盗よりは悪いと感じていない。その車窃盗よりも悪いのは、嫌がらせ電話を繰り返す、つきまとい（共にストーカー行為の一類）、車中の痴漢、性器陳列（共に痴漢行為の一類）で、これら4種の犯罪に対する悪質感には大差がない。またこれら全ては路上の恐喝よりも悪質感が低い。

3) 女子の回答の特徴；基準になる一般的犯罪が、万引き、車窃盗、恐喝の順に悪質感が増している点は男子と共通している。問題として設問した性に関わる犯罪は全て、万引きよりも悪いが、さらに更衣室覗きを除いては、車窃盗よりも全て悪い（男子では更衣室覗きと共に、エッチな電話をかけるのも、車窃盗よりもかなり悪くはない）。エッチな電話は車窃盗と同じ程度の悪さである。その他については高校生と、大学生で若干異なる。大学生は、つきまとい、嫌がらせ電話、車中の痴漢、性器陳列ともほぼ同じ程度の悪さで、恐喝よりも大部悪さの程度が低い。それに対して高校生は、これら4種ともが恐喝とほとんど同じ程度に悪いと感じている。

## 2. 各対象者群の悪質感の比較

各犯罪に対する悪質感を群別に示すと図5-2になる。



図を見ると、全ての犯罪に対して共通に、女性の方が男性よりも悪質感のレベルが高い。その中でも、女性の方が10点以上悪質感が高い犯罪を見ると、高校生の場合は、男性が女性にエッチな電話をする、車中の痴漢、男性の性器陳列、嫌がらせ電話を繰り返す、それに恐喝が入る。大学生では、車窃盗を除く全ての例示犯罪に対して、男性よりも10点以上悪質感の値が高い。

総じて高校生・大学生とも、男子よりも女性は、各種犯罪に対する悪質感が強いとみなせる。特に大学生の場合は、性に関わる犯罪への悪質感が、女性で強くなっている。

まとめ；

性に関わる犯罪として、痴漢とストーカー犯罪を取り上げ、それら犯罪と対比するために万引き、車窃盗と恐喝を取り上げて、各犯罪への悪質感を測定した。

痴漢としては、車内の痴漢と男性が性器を陳列する行為を取り上げた。ストーカーとしてはつきまといと嫌がらせ電話の繰り返しを取り上げた。そのほかに取り上げた女性の更衣室覗きと女性にエッチな電話をするのは、痴漢とストーカー

のどちらにも属する場合がある。

これら各種犯罪への悪質感を測定し、高校生と大学生の別及び、男女の別に結果を分析した。女性の方が男性よりも概して犯罪への悪質感が高いこと、特に性に関わる犯罪への悪質感の高いことが明らかになった。

